

関係各位

平成 30 年 6 月 1 日

いわて運動療法研究会
代表 諸橋 勇

玉利 誠先生秋季特別研修会のご案内

このたび、玉利 誠先生のご厚意により、東北のリハビリテーション医療に携わる皆様に向けての研修会を開催させて頂く運びとなりました。近年、脳科学の発展に伴いリハビリテーションの展開も変化しています。脳画像のみかたを勉強する機会が多くなってきましたが、東北ではまだ十分とは言えません。玉利先生には脳画像のみかた、臨床的な活用法およびその限界についても言及して頂きます。また、第二部では先生のご専門であるニューロリハの視点から片麻痺患者の体幹、歩行の病態運動学を解説して頂き、一歩進んだ臨床へのヒントを得られると思います。関心がある方は、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

テーマ： 第一部 「臨床に役立つ脳画像のみかた」

～ 脳画像から得られる情報とその限界～

第二部 「片麻痺の病態運動学とニューロリハビリテーション」

講師： 福岡国際医療福祉学院・国際医療福祉大学大学院

玉利 誠先生

(理学療法士 保健医療学博士)

内容： ①脳解剖学、脳画像のみかた
②脳画像から潜在能力を見極める
③片麻痺の体幹、歩行病態運動学
④脳科学をベースにしたアプローチとは

なお、内容に若干の変更がある場合がございますのでご了解ください。

日時：平成 30 年 10 月 20 日(土) 10:00～16:00(受付開始:9:30～)

会場：岩手県高校教育会館 大ホール(盛岡市志家町)

受講料：6000円 (参加費・資料代込み)

PT協会のポイント認定研修会です(神経5ポイント)

* 参加希望者は必要事項をご記入の上、平成30年10月13日(土)までに E-mail で申し込みください。なお、お問い合わせの際はお手数ですが、下記まで E-mail でご連絡下さい。

<申し込み>:E-mail への記入事項

①氏名 ②職種 ③経験年数 ④職場 ⑤連絡先(電話番号) ⑥玉利先生研修会
参加希望とお書き添えください。

E-mail : undo_iwate_2000@yahoo.co.jp

いわて運動療法研究会事務局

問い合わせ先 いわてリハビリテーションセンター

渡辺幸太郎 TEL 019-692-5800(内線154)

スタッフルームで回覧お願い致します

玉利先生講演実績等



Resta

リハビリテーション研究会案内 平成30年4月
Resta代表 久保田 勝徳

～参加しやすく 参加したくなる 質の高い勉強会を目指して～

全体テーマ
『新たななるニューロリハビリテーションへの挑戦』

期日：平成30年5月19日(土) 10:00～16:00(受付9:30～)
会場：なみきスクエア なみきホール(福岡市東区早干4丁目21-45)
会費：¥4,500

◆ 10:00～12:00
【講演1】 脳内ネットワークの可視化とリハビリテーション
講師：玉利 誠 先生 (福岡国際医療福祉学院 国際医療福祉大学大学院 准教授)

～Abstract～
近年、脳卒中患者の拡散テンソル画像を用いたDiffusion Tensor Tractography (DTT)により白質線維を定量し、脳内の構造的なネットワークと身体機能との関係について調査した報告が散見される。DTTのための拡散テンソル画像は比較的多くの施設で撮像されており、解析もソフトウェアウェアで可能である。臨床現場での取り組むセラピストも増えつつある。一方、脳内の構造的なネットワークを可視化する手法としてResting state fMRIがあり、近年では損傷側の一次運動野と対側の視床や補足運動野との機能的結合が運動機能の回復に関与することなどが示唆されている。Resting state fMRIは撮像や解析の難易度が高いのが難点であるが、こうした脳内のネットワークを捕捉する解析技術は新たなニューロリハビリテーションの創造に寄与する知見を提供すると考えられる。
そこで今回、臨床現場で取り組める脳画像解析の実際とともに、脳卒中患者の回復過程における構造的及び機能的ネットワーク性の経時的変化を供覧する。

◆ 13:00～15:00
【講演2】 ニューロリハビリテーションの目指すべき方向
講師：森岡 周 先生 (慶応大学 教授)

～Abstract～
ニューロリハビリテーションは「Neuroscience-based rehabilitation」の略称であり、特定の介入方法や技術を指しているものではない。残念なことに、人々は新しい技術や方法論が開発される度に、その介入手段が「ララル」を起こすのではないかと盲信(原理主義的思考)に至る傾向がある。理学療法士・作業療法士法がつくられて50余年、その治療方法はそれまで解明されてきた筋骨格系の運動学・解剖学に背景を考案・開発されてきた。一方で、この50余年、AIや深層学習を含め脳・神経科学の発展は目を見張るものがある。
本講演では、患者もたらす行動をベースに、その行動がなぜ起こるのかを把握するために、他の変数や画像、ならびに神経科学の知見を加えつつ、その病態を多角的に把握すること。そして、その病態に応じて治療手段を意思決定するといった「当たり前のこと」の重要性について述べてい。加えて、脳画像や運動学データに関わらずに患者が発する「自分のからだが良い」、「自分のからだではないような気がする」といった自己の身体意識経験を医療者は自明とせず、それがなぜ出現するかといった探求する心の消費をはかることにも注目していきたい。

国際医療福祉大学大学院 公開講座 in 福岡

メインテーマ

脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション

2017/12/9(土)開催!

第1部 13:00～14:30
「脳画像のみかた」



第2部 14:40～16:00
「脳画像研究から考えるこれからのリハビリテーション」

※当日は大学院進学相談会も開催いたします。ぜひご参加ください。



講師
国際医療福祉大学大学院
理学療法学分野
玉利 誠 准教授

専門理学療法士(神経理学療法・基礎理学療法)
日本神経理学療法学会 専攻科員

<プロフィール>

1998年	宮崎大学教育学部卒
2001年	宮崎リハビリテーション学院卒
2013年	久留米大学医学研究科(バイオ統計センター)研究生
2015年	国際医療福祉大学大学院(保健医療学博士)
2001年	市内整形外科病院
2002年	鎌倉リハビリテーション病院
2006年	福岡国際医療福祉学院
2015年	国際医療福祉大学大学院 講師
2017年	国際医療福祉大学大学院 准教授

森岡 周先生とダブル講師！！

5/27 sunday

脳卒中を呈した患者の歩行

in福岡



玉利 誠先生
福岡国際医療福祉学院 理学療法学科



大田 瑞穂先生
誠愛リハビリテーション病院

<略歴>

1998年宮崎大学教育学部、2001年宮崎リハビリテーション学院卒業。臨床を経て、2006年より福岡国際医療福祉学院にて教鞭を取る。2015年国際医療福祉大学大学院理学療法学分野講師。脳卒中・パーキンソン病患者らの脳画像・動作解析に取り組んでいる。自身の研究に基づき、これまで数多くの研修会にて講師を務める。セラピストの卒後教育分野において、現在最も活躍する理学療法士の一人である。

日本神経理学療法学会運営幹事 専門理学療法士(基礎、神経)

【主たる研究テーマ】

- 1) 拡散テンソル画像を用いた脳白質線維のTract-Based Spatial Statics解析
- 2) 3D-T1画像を用いた脳損傷患者のVoxel based morphometry解析
- 3) MATLABを用いたPD患者の神経メラニン画像解析プログラムの開発
- 4) RS-fMRIを用いた脳卒中回復過程における脳内Connectivityの解析
- 5) 三次元動作解析装置を用いた各種動作の動作解析
- 6) 学業的援助要請形態の規定因子に関する研究
- 7) 医療系専門学校における協同学習の実践的研究